

クリーンスペース・テクノロジー社

医療従事者保護の最高基準を設定するよう世界のリーダーに要請

～クリーンスペースは、WHOが毎年開催している「世界マスク週間」への取り組みの一環として、パンデミックアクションネットワークに参加します～

2021年7月12日

オーストラリア、シドニー

世界保健機関（WHO）が7月12日から18日まで開催する第2回世界マスク週間の一環として、呼吸保護具の設計・製造を行う大手メーカーのクリーンスペーステクノロジー社は本日、パンデミック・アクション・ネットワークに参加することを発表しました。このネットワークは、パンデミックを終息させ、世界のリーダーが将来のパンデミックに備えてより良い準備をするという共通の目標に向けて、企業、非営利団体、思想家のリーダーが連携するものです。

世界マスク週間の目的は、地域社会の健康を維持するための最も効果的な手段の一つであるマスクの価値を伝えることです。

クリーンスペースのCEOであるアレックス・ビレル博士は、「WHOが毎年開催している『世界マスク週間』を支援するためのグローバルなアドボカシー活動の一環として、クリーンスペースが『パンデミック・アクション・ネットワーク』への参加を発表できることを大変誇りに思います。この週間は、パンデミックとの戦いにおいて、医療従事者が最善の保護具を備えているという意識を高めるための重要な取り組みです。」と述べています。

パンデミック・アクション・ネットワークは、このような大規模な危機に対処するために構築された、強固で成長中のグローバルなマルチセクターのパートナーネットワークです。パートナーには、国際機関、市民社会組織、非政府組織（NGO）、メディア、クリエイティブ・エージェンシー、慈善団体、民間企業の代表者が名を連ねています。「COVID-19のパンデミックに対処するためには、世界は官民の前例のないパートナーシップを必要としています。私たち民間企業は、パンデミックへの備えについて、危機意識から持続可能なアプローチへと移行する努力をしています。このネットワークに参加し、COVID-19から得られた教訓を世界に向けて発信することで、次回はより良い結果を出せることを誇りに思います」とビレル博士は述べています。

過去20年間、呼吸器の開発にはほとんど革新がなく、医療現場向けに特別に設計された呼吸器はほとんどなく、その多くは産業用途からそのまま転用されています。次世代の呼吸器は、医療現場特有のニーズを取り入れ、従来のN95や呼電動ファン付き呼吸用保護具（PAPR: Power Air-Purifying Respirators）の限界に対応しています。

フェイスマスクの着用については、国や州、地域によって要件が統一されていないため、COVID-19対策の最も効果的な方法の一つであるフェイスマスクについて混乱が生じていま

す。クリーンスペースでは、医療従事者や感染リスクの高い人々を保護するには、PAPRが最適であるという証拠を一貫して確認しています。

米国では、2021年6月21日に施行された新しい政策により、エラストマー製呼吸器やPAPRを選択することが奨励されています。¹エラストマー製呼吸器は、労働者にさらなる快適さと保護を提供し、不足やサプライチェーンの混乱の影響を受けにくいからです。エラストマー製の呼吸器やPAPRは再利用可能なため、パンデミックの間もその後も、従業員が繰り返し使用できるという利点があります。²「医療、清掃、検疫などに携わる方々は、より広いコミュニティを守るために極めて重要な役割を果たしています。最大限の保護を確保するために、私たちクリーンスペースは、専門的な環境で可能な限り最高の保護具を確実に供給することを約束します。私たちは、世界と地域の医療分野のリーダー達に、医療従事者のためにPAPRを推奨することをお勧めします」とビレル博士は述べています。

【メディアコンタクト】

ベラ・グエン

+ 61 424 267 567

bella.nguyen@cleanspacetechnology.com

【[パンデミック・アクション・ネットワーク](#)について】

パンデミック・アクション・ネットワークは、現在のパンデミックをできるだけ早く終息させ、次のパンデミックへの備えを確実にするために結成された、世界中のさまざまな分野の組織からなるネットワークです。パンデミック・アクション・ネットワークは、公の場と舞台裏の両方で、政策を伝え、国民の支持と資源を動員し、短期的・長期的な行動を促すために活動しています。グローバルヘルス政策、アドボカシー、コミュニケーションの専門家で構成される中核チームは、COVID-19とパンデミック対策に関する国際的な活動を促進しています。COVID-19への対応を機に、世界的な対応を強化し、パンデミック対策のための政策や資金調達のインフラを構築するための活動を強化しています。

【[クリーンスペース・テクノロジー社](#)について】

クリーンスペースはシドニーを拠点とし、ヘルスケアや産業用の呼吸保護具を設計・製造しています。呼吸器系の医療機器で経験を積んだ生物医学エンジニアのチームによって設立されました。クリーンスペースは、健康状態、職場の安全性、医療水準の継続的な向上に情熱を注いでいます。この20年間、技術は医療機器をかつてないほど進化させ、人々の健康を変えてきました。私たちはこれを個人の呼吸器保護にももたらしました。当社は、研究開発

¹ OSHA Emergency Temporary Standard related to COVID-19, note to paragraph (q)(c)

² OSHA Emergency Temporary Standard related to COVID-19, note to paragraph (f)(2)

プログラムへの投資を継続し、差別化された設計と承認された製品を提供しています。これらの製品は、雇用者やユーザーにとって魅力的なメリット、すなわち、コンプライアンスや生産性の向上を伴う高い保護機能を提供します。クリーンスペースの呼吸器は、最前線にいる人々の呼吸器に対する考え方を変える、真のゲームチェンジャーです。